

サブカルチャーに熱中する青年期女性の心理的特性
ー ヴィジュアル系バンドのファンを例として ー

立命館大学大学院
応用人間科学研究科
臨床心理学領域
横井 風音

本研究は、青年期特有の心理特性に着目し、その心理特性とヴィジュアル系バンド（以下 V 系バンドとする）というサブカルチャーに熱中することがどう関係するのか、という点を検討することを目的とし、V 系バンドに熱中していた経験を持つ人 3 名を対象に半構造化インタビューを行った。逐語録の中から、友人関係、家族関係、バンドについて、自分自身についての 4 点に関連する語りを抽出して時系列に並べ、調査協力者ごとにストーリーラインとしてまとめた。その後語られたストーリーの中から研究協力者の体験を把握する上で重要と思われる要素を抽出し、概念化を行った。

分析した結果、青年期に V 系バンドに熱中することの意義として、逃げ場所としての機能、V 系バンドの世界で非日常体験をすることの重要性、V 系バンドの世界における人間関係と自己形成の 3 点があることが考えられた。

逃げ場所としての機能とは V 系バンドの世界が現実や日常生活から逃げられる場所であり、バンギャの特徴としては、自分の居場所となる場所を求め、自ら行動する姿勢があったことが考えられた。また、V 系バンドの世界で非日常体験をすることで、普通の人とは違うものを求める自分についての理解を深め、心的な安全を確保していたことが考えられた。V 系バンドの世界における人間関係と自己形成とは、バンギャには学校と V 系バンドの世界の 2 つの場所で自己形成を行っていたことが考えられることであった。